

(別表第1の3)

評価結果概要表

【事業所概要(事業所記入)】

| | |
|---------|-------------------|
| 事業所番号 | 3870200908 |
| 法人名 | (株)シンコー |
| 事業所名 | ハートフルケアホーム青空 |
| 所在地 | 愛媛県今治市南高下町2丁目2-67 |
| 自己評価作成日 | 平成21年10月22日 |

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先 [※「介護サービス情報の公表」制度にて、基本情報を公表している場合のみ、ここに記載](#)

【評価機関概要(評価機関記入)】

| | |
|-------|-------------------|
| 評価機関名 | 社会福祉法人 愛媛県社会福祉協議会 |
| 所在地 | 松山市持田町三丁目8番15号 |
| 訪問調査日 | 平成 21 年 11 月 4 日 |

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

基本理念を基に 日々のお手伝いをさせて頂いている。バランスの取れた意欲の出る食事づくりを利用者さんと全職員が協力して調理、満足した利用者さんと職員の笑顔、どちらも青空の宝です。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

心の大切さや社会とのつながりをホームの理念において、管理者及び職員は笑顔で利用者の日々の暮らしを支えている。玄関は自由に入出入りできるようになっており、近所の方が気軽に訪れて来ている。ホームの4階は広く、運動会や食事を開いたり、利用者の憩いの場所となっている。ホームの行事も利用者が楽しめるように計画されている。畑で収穫した新鮮な野菜を使い、栄養バランスを考えて作られる食事は、利用者の楽しみの一つとなっている。ホームは地域の自治会に入り、自治会の会合場所としてホームを提供したり、地域の行事に参加したり、ホームの行事に参加してもらうなどして、地域との交流を深めている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

| 項目 | | 取り組みの成果 ↓該当するものに○印 | 項目 | 取り組みの成果 ↓該当する項目に○印 |
|----|--|---|----|---|
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25) | ○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない | 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19) |
| 57 | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38) | ○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない | 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20) |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38) | ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない | 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4) |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37) | ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない | 66 | 職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12) |
| 60 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49) | ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない | 67 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う |
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目:30,31) | ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない | 68 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う |
| 62 | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28) | ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない | | |

(別表第1の2)

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- I. 理念に基づく運営
- II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

【記入方法】

● 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

● 全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

※用語について

● 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含まれます。
(他に「家族」に限定する項目がある)

● 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

● 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含まれます。

● チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含まれます。

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

ーサービス向上への3ステップー

事業所名 ハートフルケアホーム青空

(ユニット名) 春

記入者(管理者)

氏名 古賀 京子

評価完了日 21 年 10 月 22 日

(別表第1)

自己評価及び外部評価表

【セル内の改行は、「Altキー」+「Enterキー」です】

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ) |
|-------------------|------|--|--|-------------------------------|
| I.理念に基づく運営 | | | | |
| 1 | 1 | ○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている | <p>(自己評価) 自分達で4つ掲げた理念を全職員で共有し、地域の方と心からふれあい生きがいと希望のある暮らしや笑顔で過ごせる安らぎのある場所づくりを継続している。</p> <p>(外部評価) 現在の理念は、職員が「自分がして欲しいこと・して欲しくないこと」等について意見を出し合い、地域とのつながりも考えながら話し合い、作り上げた理念である。理念を名札の裏に入れ、管理者及び職員は心の大切さを常に意識し、笑顔で理念に沿って利用者を支援している。</p> | |
| 2 | 2 | ○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している | <p>(自己評価) 施設行事にご案内、子供たちをはじめご家族に参加いただき全てを青空で提供一日楽しく交流又公園や、散歩道では、地域の方と触れ合いの場を持ち、施設においては、いつでも訪問して頂ける様に開放、地域とのつながりを大切にしている。</p> <p>(外部評価) ホームは自治会に入り、地域の掃除等、地域の一員として役割を担っており、自治会の会合場所としてホームを利用してもらっている。地域の行事に積極的に参加し、またホームの行事に地域の方に参加してもらった際には食事の提供等もしている。散歩時に挨拶を交わしたり、近所の方からおすそ分けをもらうような関係を築いている。</p> | |
| 3 | | ○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている | <p>(自己評価) 自治会の集いに施設を使って頂き、運動会、食事会、その他行事にご参加いただき利用者さんと交流していただき触れ合いながら認知症の理解や支援の方法を学んでもらっている又学生の体験学習もうけつけている。</p> | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ) |
|------|------|---|--|--|
| 4 | 3 | ○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実 際、評価への取組み状況等について報告 や話し合いを行い、そこでの意見をサービ ス向上に活かしている | (自己評価) その中で取り上げられた課題については、すぐに対応 し利用者の方、家族の方が安心できるサービスの提供 に努力している。また利用者さんの地域交流に対して の取組みも行っている。 | |
| | | | (外部評価) 会議には利用者及び家族、地域包括支援センター、自 治会長、民生委員等に参加してもらい、ホームの状況 報告を行い、地域の情報を得て、意見交換等を行って いる。管理者は常に参加を呼びかけているが、参加人 数がやや少ない傾向にある。 | 管理者は、参加者を増やしたいとの思いから、参加の 依頼を続けている。より多くの意見や情報を得てホー ムのサービスの向上につなげるためにも、多方面の方 の参加を得られるような工夫を期待したい。 |
| 5 | 4 | ○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、 事業所の実情やケアサービスの取組みを積 極的に伝えながら、協力関係を築くように 取り組んでいる | (自己評価) 施設広報なども持参し、市町村にも度々出かけ報告相 談している。 | |
| | | | (外部評価) 開設当初から、管理者は市担当者とは交流を図ってお り、現在も市や地域包括支援センターに出向いてホー ムの実情を話したり相談することで、協力してサービ スの質の向上に取り組んでいる。 | |
| 6 | 5 | ○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準におけ る禁止の対象となる具体的な行為」を正し く理解しており、玄関の施錠を含めて身体 拘束をしないケアに取り組んでいる | (自己評価) 過去研修会に参加したり、職員間で話し合ったり、頂 いた資料で勉強又日々の管理職の話しなど具体的に全 職員が理解実施できている。例えば玄関出入りの施 錠をしない。日々の言葉使いにも注意する等利用者さ んの安らぎのある居場所づくりに努めている。 | |
| | | | (外部評価) 管理者及び職員は、身体拘束についての勉強会も行い 理解を深めている。「閉じ込めない」「心に鍵をかけ ない」ことを日常の生活の中で心がけ、言葉かけにも 配慮している。玄関及びユニットには施錠せず、職員 の見守りで対応している。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ) |
|------|------|---|--|-------------------------------|
| 7 | | ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている | (自己評価) 心身ともに傷つける行為は、絶対あってはならない事として取り組んでいるが、心身、身体のみならず、ネグレストに対しても業務の大変さから知らず知らずのうちにそのような行為にならないように、その都度気をつけている。 | |
| 8 | | ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している | (自己評価) 話すだけでは後に残らないので資料もわたし又、掲示のような制度化勉強し理解し、活用していただけるように努力している。 | |
| 9 | | ○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている | (自己評価) 基本理念を説明した上、施設の様子を利用者の方や家族の方の目で見てもらうことで、納得いくまで話し合い理解して頂いている。 | |
| 10 | 6 | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | (自己評価) 本人からの訴えなどや、家族の方も気がついた事があった場合、職員に話して下さっているし、それを聴いてすぐに改善、解決できるように取り組んでいる。又、気軽に何でも意見が出せるように、目安箱の設置もされている。 (外部評価) 日頃から家族の訪問は多く、家族の訪問時には職員が話を聞くよう心がけている。また、家族との交流会も積極的に開いて意見を聞くよう努めており、出された意見や要望は検討し、すぐ対応している。意見箱の設置も行っているが、特に意見は出されていない。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ) |
|-----------------------------|------|--|--|-------------------------------|
| 11 | 7 | ○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている | (自己評価) 利用者の方や職員間の問題・勤務の関係等、報告した事や問題点などを、即、対応できる方向性が定着している。 (外部評価) 管理者は、会議時や、個別に会話できる環境をつくり、職員の意見を聞き取っており、意見や要望等を運営者に伝えている。勤務については、職員に休みの希望を聞き、管理者が調整している。 | |
| 12 | | ○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている | (自己評価) 常に人員確保に努め、利用者の方への不安や支援の提供不足にならない様努力している。職員が働きやすい職場環境、条件づくりをする為にオーナーも福山からきて話し合う場作りを今年度からは特に定期的にもてる努力をしている。 | |
| 13 | | ○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | (自己評価) 常に日常の会話の中での訓練、勉強は出来ており、研修等にあわせたシフトなども予約でき、研修会などには積極的に参加できる。 | |
| 14 | | ○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている | (自己評価) 他施設との積極的な交流もあり、情報交換等でお互いの質の向上に取り組んでいる。 | |
| II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | |
| 15 | | ○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | (自己評価) まず不安に思うことを傾聴し、施設見学（利用者の方との食事等実際目で見ただく）後、納得行くまで話し合っている。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ) |
|------|------|--|---|-------------------------------|
| 16 | | ○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている | (自己評価) 来訪されると、まず家族の方の思いを聞き受け止めたうえで、施設の利用者の方の様子を見ていただいたり、見学もして頂き、その後ゆっくり安心されるよう対話を重ねる。 | |
| 17 | | ○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | (自己評価) まずは、本人の気持ちを大切に、今困っている事等、不安に思う事をよく聴き、家族の方の思いにも配慮しながら決してあせる事なくゆっくりと話し合いをしている。 | |
| 18 | | ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている | (自己評価) 人生の先輩である意識を持ち、常に教えていただくとの姿勢で接している。その上で、出来ない機能的部分において支援したり、時に悲観的になる気持ちをあかるくしてあげられる様な関係づくりをしている。 | |
| 19 | | ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている | (自己評価) 家族の悩み、不安の部分もしっかりと傾聴し、本人にどうして上げたいかを意見交換しながら、どちらか一方的にならない様に連携をとっている。 | |
| 20 | 8 | ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | (自己評価) 職員が、利用者の方一人一人の情報を把握し、それを元に会話し、懐かしさと共感できるうれしきで、安心感を与えてあげられるように努力している。 (外部評価) 家族だけでなく、利用者の友人や近所の方が訪ねて来ることもある。ホームも歓迎し、利用者と一緒に過ごせるような環境に配慮し、お茶等でもてなしている。家族の訪問時に一緒に出かけ、馴染みの美容院等に行くこともある。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ) |
|------------------------------------|------|---|---|-------------------------------|
| 21 | | ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている | (自己評価) なんだかの障害を持った方は、思うように動けなかったりコミュニケーションが取れにくく孤立しやすい為、声がけし輪の中に入れるよう配慮している。又他者のために出来る役割を与えてあげ、協調性が持てるように支援している。」、 | |
| 22 | | ○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている | (自己評価) 色々な観点からお互いに協力できる関係性を築きそれを断ち切らないお付き合いが出来ている。 | |
| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | |
| 23 | 9 | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | (自己評価) 他人に迷惑をかけない限り、本人の意思を聴いてあげ、生活上可能な範囲で本人の希望、意向に副うように心掛けている。 (外部評価) 日々の暮らしの中で本人に思いを聞いたり、家族にも要望等を聞いている。職員は、利用者一人ひとりについて気づいたことを申し送りや記録で残し、職員同士で話し合っって共有を図り、利用者の個別支援に努めている。 | |
| 24 | | ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | (自己評価) 色々な方向からの情報収集は出来る限り行い、それに対して把握し、暮らしやすい方向性を見つけ出せるよう取り組んでいる。 | |
| 25 | | ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている | (自己評価) 一人一人の毎日の状態は常に把握し、少しでも変化が見られると、バイタルの確認をこまめに行い、家族とも連絡を取りながら、その人の、その日の状態に合わせた暮らしできるように配慮している。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ) |
|------|------|--|---|-------------------------------|
| 26 | 10 | ○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | (自己評価) カンファレンス等でできた課題を施設長を中心に話し合い、家族の方からの意見も頂、又病的支援が必要な方に対しては医師からの指示も頂きながら、介護計画を作成している。 (外部評価) 本人や家族の意見や要望を聞き、職員の気づきや意見も取り入れて話し合い、本人に合った介護計画を作成している。定期的に見直しと評価を行っている。利用者の状況が変わればその都度話し合い、新たな介護計画を作成している。 | |
| 27 | | ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | (自己評価) 毎朝バイタルチェックを実施し体調を把握した上で、その場にいなくても分かるように一日の生活状況を細かく記録している。また、細かい気付きは職員同士の申し送り帳を利用します。 | |
| 28 | | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる | (自己評価) 他のサービスを利用決まった曜日、時間にリハビリ等に通う、又心を大切に一人ひとりに寄り添う個別外出(喫茶店、買い物、散歩、ドライブ、その他) | |
| 29 | | ○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している | (自己評価) 地域のボランティアさんや他施設との交流バス旅行、一人にひとり介助者がついて安全確保をして美味しいお食事を楽しみながら唄や踊りに利用者様も積極的に参加され、ふれあいなじみの関係も出来てきている。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ) |
|------|------|---|---|-------------------------------|
| 30 | 11 | ○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している | (自己評価) 先は本人、家族の意見を重視し、受診の際には極力家 族の方にお願ひし、一緒に通院していただいている。 基本的には、かかりつけ医も各個別にきちんとあり、 定期的に受診通院されている方もいます。 (外部評価) 入所当時はかかりつけ医は違っていた利用者も、現在 では協力医療機関がかかりつけ医となっている場合 が多い。受診の付き添いは基本的には家族にお願ひし ているが、送迎はホーム側で行っている。緊急の場合 は職員が対応している。 | |
| 31 | | ○看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた 情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問 看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が 適切な受診や看護を受けられるように支援 している | (自己評価) いつもと違うに全職員でとりくみ、それに毎日の入浴 時のさりげない観察等もよく、職員間また家族や医療 機関との報告、連絡、相談もできているので、適切な 受診や看護が受けられる様にお手伝いできている。 | |
| 32 | | ○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できる ように、また、できるだけ早期に退院でき るように、病院関係者との情報交換や相談 に努めている。または、そうした場合に備 えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | (自己評価) 協力関連医を中心に相談報告が実施できている。 | |
| 33 | 12 | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方につい て、早い段階から本人・家族等と話し合い を行い、事業所でできることを十分に説明 しながら方針を共有し、地域の関係者と共 にチームで支援に取り組んでいる | (自己評価) 施設独自の対応マニュアルを作成している。又、 「死」を避けては通れないので家族の方と日常的に方 向性についても話し合っている。 (外部評価) 利用開始当初から本人及び家族に説明を行い、同意を 得ている。利用者の状況の変化に応じて、その都度か かりつけ医と相談し、家族とも話し合いながら方針を 決めている。看取り介護についての同意書ももらって おり、家族が希望し、ホームでの対応が可能な場合は 受け入れる体制をつくっている。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ) |
|----------------------------------|------|--|--|-------------------------------|
| 34 | | ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている | (自己評価) 応急処置、初期対応の訓練をうけたり、研修会などに参加し勉強している。 | |
| 35 | 13 | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている | (自己評価) 火災訓練の実施や地域の避難所の確認等、きちんと把握されている。又地域の方との連携協力体制も出来ている。 (外部評価) 最近消防署の協力は得られていないが、年に2～3回は防災訓練を行っており、訓練用の消火器も置いている。防災マニュアルも作成し、ホーム内に避難経路も明示している。地域の方には日頃から協力をお願いしている。 | |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | |
| 36 | 14 | ○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている | (自己評価) 基本理念やスタッフの心構え3原則をを大切に職員全員が対応させていただいている。又秘密保持は日々話しきちんと守られている。 (外部評価) 管理者及び職員は心の大切さを常に考えており、日々の生活の中で、一人ひとり言葉かけについても気をつけている。トイレや歯磨きの誘導にも配慮がみられる。職員と利用者の会話は、家庭に居るような雰囲気があり、日常の生活を楽んでいる様子がうかがえる。家族の面会簿は個別にしている。 | |
| 37 | | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている | (自己評価) 他者に迷惑がかかったり、危険な行為以外は、利用者の方気持ち意見を、しっかり傾聴し受け止め、出来る限り希望に副うように支援している。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ) |
|------|------|---|---|-------------------------------|
| 38 | | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | (自己評価) 起床から就寝まで、基本的な生活の流れはあっても、その日の体調、状態にあわせて、その人のペースで過ごしていただいている。 | |
| 39 | | ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している | (自己評価) 家族の方に連絡し、家族と一緒に出かけいただき、本人が納得できるようにしている。希望により散髪など職員がさせていただいている。(無料) | |
| 40 | 15 | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | (自己評価) 利用者の肩には、まず毎日食べたいものを聞いて、食欲の出る食事づくりを心がけており、利用者の方も生活作業として下準備にとり組んでくださり、他品目で美味しく身体にも良い食事が毎日できている。又雰囲気を変えて屋外で食事会を設けたりもしている。後固唾家なども利用者の方が積極的に行っている。 (外部評価) 栄養バランスに気をつけ、品数も多く、季節感も採り入れ、見た目も食欲をそそるよう盛り付けされた食事は利用者の楽しみの一つとなっている。利用者は食事の下ごしらえと一緒にするなど、準備段階から参加している。時間を要する利用者については、本人が自力で食べ終わるまで職員が見守っている。 | |
| 41 | | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | (自己評価) 日々の食事量、水分摂取量等の個別に記録、把握できている、個々の声かけ介助を行うようにしている。特に水分の補給には十分に気をつけている。 | |
| 42 | | ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている | (自己評価) 毎食後、声かけ介助で、それぞれの方の能力に応じたお手伝いが出来ている。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ) |
|------|------|---|---|-------------------------------|
| 43 | 16 | ○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている | <p>(自己評価) 人としての尊厳を保持し全利用者の方がトイレで排泄できるようお手伝いできている。残存能力の重視で体を動かして機能低下防止や居室の清潔保持の為に、ポータブルトイレを置かない、また能力が落ちていかされてもお手伝いする量を増やしながらトイレ誘導、排泄の自立のお手伝いに努めている。</p> <p>(外部評価) 職員は、利用者一人ひとりの排泄パターンを把握して個別に支援している。全利用者について、昼間だけでなく夜間もオムツやポータブルトイレを使わず、利用者の睡眠の状態に合わせてトイレまで誘導しており、自立に向けた支援を積極的に行っている。</p> | |
| 44 | | ○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる | <p>(自己評価) 薬などを使用しないで食時、水分補給、運動や毎日の入浴などで個々に応じた取りくみが出来ている。記録をみて職員で話し合い便秘しやすい人には水分補給や運動量などに特にきをつけ気持の良い排泄、便秘予防に取り組んでいる。</p> | |
| 45 | 17 | ○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている | <p>(自己評価) 入浴拒否をされる方は、どこでも多いと思うが、清潔保持の為に努力しなければならない処もある。その人その人に応じて会話を重ね、納得し喜んで入浴していただけるよう取り組んでいる。入浴後は必ず気持ちよかったとの言葉が聴かれる。</p> <p>(外部評価) 利用者の体調等に配慮しながら、可能な限り全員が毎日入浴できるよう支援している。午前中は散歩や運動などの活動を行っているため、午後からの入浴が基本となっている。順番は職員が調節しながら、利用者が気持ちよく入れるよう配慮している。入りたがらない人には、声かけを工夫したり、声をかける職員を交代するなどして対応している。</p> | |
| 46 | | ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している | <p>(自己評価) 眠れない方には、安心されるまで横について話をしあげ、本人が眠れる状態になるまで、傾聴や話をさせていただいている。</p> | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ) |
|------|------|--|--|-------------------------------|
| 47 | | ○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | (自己評価) 処方箋の一覧表により、薬の働きを理解しかかりつけの病院や家族の方との連携を密にとるようにしている。 | |
| 48 | | ○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている | (自己評価) 主婦の経験を生かした家事は積極的にされているし、趣味を生かした取り組みを熱心にされたり、又ドライブや戸外に出かけることで気分転換をする機会を持っている。 | |
| 49 | 18 | ○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している | (自己評価) 本人の希望に応じておやつなど買い物に出かけたり、ドライブなどしている。天気の良い日には近所を散歩して地域の方と挨拶を交わしている。ホーム行事として出かける計画も多くある。施設内に畑があり、利用者は職員と一緒に収穫を楽しんでいる。 | |
| | | | (外部評価) 日頃から近所を散歩したり、利用者の希望に応じて買い物や喫茶店、ドライブ等に出かけている。畑の収穫を楽しんだり、少しの間でもホームの外に出て外気に触れられるよう支援している。利用者和社会とのつながりを断ち切らないよう、地域の行事に参加したり、遠出の外出等も計画的に実践している。 | |
| 50 | | ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | (自己評価) 失見当織の状態の方が多いため職員の管理の下、本人が使用するものや、おやつ等を定期的買いにいっている。 | |
| 51 | | ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | (自己評価) 遠い所から家族の方がお手紙や電話を下さったり、来設だけでなく電話などの利用支援もしている。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ) |
|------|------|--|---|-------------------------------|
| 52 | 19 | ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | (自己評価) 利用者の方が取り組まれた作品や季節の飾りつけなどを行っている。又出来るだけ季節の華や果物を飾り居心地の良い空間づくりをしている。 | |
| | | | (外部評価) 管理者及び職員は家庭的な雰囲気を大切にしており、居間にはテーブルやソファが工夫して配置されている。トイレも広く、手すりの位置も考えて設置されている。壁には職員と利用者が一緒に作った季節の作品や、季節の花も飾られている。利用者は昼食後はそれぞれがお気に入りの場所で自由に過ごしている。 | |
| 53 | | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている | (自己評価) 数人が話しのできるソファや椅子を置き、音楽を流したりその都度考え友達を多く作っていただけるよう心がけている股ひとりになれる場所も環境整備している | |
| 54 | 20 | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | (自己評価) 使い慣れたものや、ご家族の写真などをおかせてもらいひとり一人の思いを大切に心休まる空間を心がけている。 | |
| | | | (外部評価) 収納庫があるため、すっきりした部屋が多い。利用者によって家庭から持ち込んでいるものに違いがあるが、部屋の飾りや写真等は自分の部屋らしく飾り付けされている。部屋全体は落ち着いた雰囲気となっており、本人が過ごしやすい個性があふれた部屋になっている。 | |
| 55 | | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している | (自己評価) 食材の下ごしらえ等、清潔に心がけながら少しでも残存機能を活かせるよう、できる事、分かることを安全にしていただけのようにしている。又、身体機能の低下防止（廃用症候群の予防）の為に無理のない運動にも力を入れている。特に歩く事を心がけている。 | |

(別表第1の3)

評価結果概要表

【事業所概要(事業所記入)】

| | |
|---------|-------------------|
| 事業所番号 | 3870200908 |
| 法人名 | (株)シンコー |
| 事業所名 | ハートフルケアホーム青空 |
| 所在地 | 愛媛県今治市南高下町2丁目2-67 |
| 自己評価作成日 | 平成21年10月22日 |

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先 [※「介護サービス情報の公表」制度にて、基本情報を公表している場合のみ、ここに記載](#)

【評価機関概要(評価機関記入)】

| | |
|-------|-------------------|
| 評価機関名 | 社会福祉法人 愛媛県社会福祉協議会 |
| 所在地 | 松山市持田町三丁目8番15号 |
| 訪問調査日 | 平成 21 年 11 月 4 日 |

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

自分達で作った基本理念を基に日々のお手伝いをさせていただいている。全ての服薬を極力へしお手伝いでカバー。バランスの取れた意欲の出る食事づくりを利用者さんと一緒にして、利用者さんの美味しいと満足な笑顔を頂いている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

心の大切さや社会とのつながりをホームの理念において、管理者及び職員は笑顔で利用者の日々の暮らしを支えている。玄関は自由に出入りできるようになっており、近所の方が気軽に訪れて来ている。ホームの4階は広く、運動会や食事を開いたり、利用者の憩いの場所となっている。ホームの行事も利用者が楽しめるように計画されている。畑で収穫した新鮮な野菜を使い、栄養バランスを考えて作られる食事は、利用者の楽しみの一つとなっている。ホームは地域の自治会に入り、自治会の会合場所としてホームを提供したり、地域の行事に参加したり、ホームの行事に参加してもらうなどして、地域との交流を深めている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

| 項目 | | 取り組みの成果 ↓該当するものに○印 | 項目 | 取り組みの成果 ↓該当する項目に○印 |
|----|--|---|----|---|
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25) | ○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない | 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19) |
| 57 | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38) | ○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない | 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20) |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38) | ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない | 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4) |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37) | ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない | 66 | 職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12) |
| 60 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49) | ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない | 67 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う |
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目:30,31) | ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない | 68 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う |
| 62 | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28) | ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない | | |

(別表第1)

自己評価及び外部評価表

【セル内の改行は、「Altキー」+「Enterキー」です】

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ) |
|-------------------|------|--|--|-------------------------------|
| I.理念に基づく運営 | | | | |
| 1 | 1 | ○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている | <p>(自己評価) 皆んなで作った理念、常に利用者さんのことを考えて地域と交流しながら迷ったり意見の違った時には、理念を玄関やリビング、名札の裏に提示しそれを振り返り目標として日々介護の取り組みができています。</p> <p>(外部評価) 現在の理念は、職員が「自分がして欲しいこと・して欲しくないこと」等について意見を出し合い、地域とのつながりも考えながら話し合い、作り上げた理念である。理念を名札の裏に入れ、管理者及び職員は心の大切さを常に意識し、笑顔で理念に沿って利用者を支援している。</p> | |
| 2 | 2 | ○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している | <p>(自己評価) 事業所が自治会に加入、自治会の集会場としてホームを利用。自治会、老人会の行事等地域活動に参加し事業所は孤立することなく地元の人々と気軽に付き合い、自由に施設にも出入りお互いに日常の挨拶から季節野菜果物等のやり取りもでき信頼関係ができています。</p> <p>(外部評価) ホームは自治会に入り、地域の掃除等、地域の一員として役割を担っており、自治会の会合場所としてホームを利用してもらっている。地域の行事に積極的に参加し、またホームの行事に地域の方に参加してもらった際には食事の提供等もしている。散歩時に挨拶を交わしたり、近所の方からおすそ分けをもらうような関係を築いている。</p> | |
| 3 | | ○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている | <p>(自己評価) 自治会の開場として使用いただき、地域の祭りや行事の休息上や開場として施設を利用していただいている。お祭りの休息時は飲み物その他提供利用者さんと交流認知症の方への理解を深めていただいている。</p> | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ) |
|------|------|---|---|-------------------------------|
| 4 | 3 | ○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実 際、評価への取り組み状況等について報告 や話し合いを行い、そこでの意見をサービ ス向上に活かしている | (自己評価) 会議では、積極的に意見を頂くようにし、その意見に ついては後でよく話し合いサービスの向上に役立ってい る。参加していない方には会議の報告をしている。 | 次ステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ) |
| | | | (外部評価) 会議には利用者及び家族、地域包括支援センター、自 治会長、民生委員等に参加してもらい、ホームの状況 報告を行い、地域の情報を得て、意見交換等を行って いる。管理者は常に参加を呼びかけているが、参加人 数がやや少ない傾向にある。 | |
| 5 | 4 | ○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、 事業所の実情やケアサービスの取組みを積 極的に伝えながら、協力関係を築くように 取り組んでいる | (自己評価) 市町村に度々出かけ報告、相談を密にしている。 | 次ステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ) |
| | | | (外部評価) 開設当初から、管理者は市担当者とは交流を図って おり、現在も市や地域包括支援センターに出向いてホ ームの実情を話したり相談することで、協力してサー ビスの質の向上に取り組んでいる。 | |
| 6 | 5 | ○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準におけ る禁止の対象となる具体的な行為」を正し く理解しており、玄関の施錠を含めて身体 拘束をしないケアに取り組んでいる | (自己評価) 拘束について勉強会を開き、内容と改善について職員 全員が認識している。全ての出入り口の施錠はせず心 の鍵を大切に介護ができています。 | 次ステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ) |
| | | | (外部評価) 管理者及び職員は、身体拘束についての勉強会も行 い理解を深めている。「閉じ込めない」「心に鍵をかけ ない」ことを日常の生活の中で心がけ、言葉かけにも 配慮している。玄関及びユニットには施錠せず、職員 の見守りで対応している。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ) |
|------|------|---|--|-------------------------------|
| 7 | | ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている | (自己評価) 虐待について研修や勉強会を重ね、職員同士お互いに協力注意しあって虐待のない明るい職場づくり又虐待を見落とさない介護をしている。 | |
| 8 | | ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している | (自己評価) 研修会に参加したり、資料を頂いたりして、正しい知識得たうえで、どの方にもどのように利用できるか、皆で話し合っている。 | |
| 9 | | ○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている | (自己評価) 常に利用者や家族の方との話し合いを十分に持ち、不安や疑問をよく聞くよう心がけている。色々な不安や疑問などについては、十分調べたうえで説明し納得がいくまで話し合い理解していただくようにしている。 | |
| 10 | 6 | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | (自己評価) 利用者やご家族からの意見や要望は出していただきやすい雰囲気をつくり又引き出す努力工夫をしています。出されて者は、管理者へ報告し運営に反映させるよう、助言をしてもらっている。 (外部評価) 日頃から家族の訪問は多く、家族の訪問時には職員が話を聞くよう心がけている。また、家族との交流会も積極的に開いて意見を聞くよう努めており、出された意見や要望は検討し、すぐ対応している。意見箱の設置も行っているが、特に意見は出されていない。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ) |
|-----------------------------|------|--|--|-------------------------------|
| 11 | 7 | ○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている | (自己評価) 運営に関する職員の意見は、任意に聞いています。意見は直ちに見当運営に反映するよう努めています。 (外部評価) 管理者は、会議時や、個別に会話できる環境をつくり、職員の意見を聞き取っており、意見や要望等を運営者に伝えている。勤務については、職員に休みの希望を聞き、管理者が調整している。 | |
| 12 | | ○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている | (自己評価) 毎月定期的こられ一人ひとりの意欲が出る環境の整備を傾聴を大切に努めている。 | |
| 13 | | ○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | (自己評価) ハローワークなどにも仕事をしながら資格の勉強や研修の機会持てる提示、又実際にタイムスケジュールを調整しお互いに勉強していただける環境づくりを推進している。 | |
| 14 | | ○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている | (自己評価) 他の事業所の職員と交流して情報交換をしています。お花見や敬老会など他事行書と合同で実施又ボランティアで他の事業所に参加サービスの質の向上の取り組みができています。 | |
| II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | |
| 15 | | ○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | (自己評価) 入居前利用者さんと昼食を共にして頂いたり、又本人と話をよくしながら様子を伺ったうえでどうしたら安心して生活していただけるかを考えその人の望みや性格など早く把握し本人の要望に添えるよう努めています。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ) |
|------|------|--|--|-------------------------------|
| 16 | | ○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている | (自己評価) いつでも相談に応じられるように家族の思いを受け止め不安や要望にお答えし、安心、信頼が得られるよう努めています。家族さんも利用者さんと一緒に昼食を共にして頂いたりもしています。 | |
| 17 | | ○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | (自己評価) 必ず、本人家族と良く話し、今の状況とお気持ちを受けとめ今必要としている支援を話し合ったり施設見学をして頂きなじんでいただけるか見きわめています。 | |
| 18 | | ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている | (自己評価) 食事、入浴、レクレーション時利用者の方は良くお話をさせていただきます。そうした中で学ばしていただくことも多く又理解し支えあえる事も多いと思います。 | |
| 19 | | ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている | (自己評価) 家族の方ができる本人への支援はできる限りしていただいています。家族の方の不安や悩みを傾聴し家族の方の支援もさせていただいています。家族方に報告相談し利用者様を支える支援を共にさせていただく事もあります。 | |
| 20 | 8 | ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | (自己評価) 家族さんの了解を得てなじみの人や家族、その他の方と自由に外出や交流の機会を持ちながら社会とのつながりを絶つことなく継続して支援させていただいている。 (外部評価) 家族だけでなく、利用者の友人や近所の方が訪ねて来ることもある。ホームも歓迎し、利用者と一緒に過ごすような環境に配慮し、お茶等でもてなしている。家族の訪問時に一緒に出かけ、馴染みの美容院等に行くこともある。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ) |
|------------------------------------|------|---|---|-------------------------------|
| 21 | | ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている | (自己評価) 利用者同士の助け合いなどは危険なことがない限り見守っている。誕生日や特別な事は皆でお祝いします。又皆でできる作業やレクレーション等を工夫し孤立者が出ないようにも声がけ見守り全員が参加楽しめるよう配慮しています。 | |
| 22 | | ○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている | (自己評価) 入院すればお見舞いに伺ったり家族に様子をを聞かせていただいたりしています。又年末などは過去、現在に青空の入居者さんに病院に会いに伺います。又施設を離れてもいつでも相談でや交流のできる体制を普段から作っています。 | |
| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | |
| 23 | 9 | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | (自己評価) 日々の暮らしの中で、傾聴を大切に本人に、何をしたいか、どうしたらよいか等聞くようにしている。把握困難な方にも、無理に強制しないで言動行動等により職員で話し合い好む方向を見出すようにしている。 (外部評価) 日々の暮らしの中で本人に思いを聞いたり、家族にも要望等を聞いている。職員は、利用者一人ひとりについて気づいたことを申し送りや記録で残し、職員同士で話し合っって共有を図り、利用者の個別支援に努めている。 | |
| 24 | | ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | (自己評価) 基本情報や本人の日々の会話、家族さんや知人の来訪時などにこれまでどの様な環境で生活をされていたか訪ね聞き取りケアの参考にします。 | |
| 25 | | ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている | (自己評価) 本人、家族、関係者から以前の暮らしぶりを傾聴し本人の生活歴を理解したうえで、一人ひとりのその日の心身の状態に合わせた対応を全職員が心がけています。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ) |
|------|------|--|---|--|
| 26 | 10 | ○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | (自己評価) 本人や家族さんのお話をよく聞いた上で、職員全員が提出したカンファレンス記録を元に話し合って介護計画を立てている。 | |
| | | | (外部評価) 本人や家族の意見や要望を聞き、職員の気づきや意見も取り入れて話し合い、本人に合った介護計画を作成している。定期的に見直しと評価を行っている。利用者の状況が変わればその都度話し合い、新たな介護計画を作成している。 | 管理者は、介護計画の記録を含めた記録全般について、職員の負担も少なくわかりやすい記録にしたいと考えており、今後、見直しをする予定としている。利用者のためにも、全職員で話し合ってさらに良い記録となるよう期待したい。 |
| 27 | | ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | (自己評価) 毎朝バイタルチェックを実施体調を把握した上で、一日の生活状況を細かく記録している。又細かい記録は職員同士の申しおくり帳を利用します。 | |
| 28 | | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる | (自己評価) 病院受診は基本適否は家族にお願いしているがご家族の都合の悪いときは職員がお連れします。かかり付け医院の投薬は職員が取りに行き利用者ご家族のニーズにはこたえられるよう勤めています。 | |
| 29 | | ○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している | (自己評価) 地域住民、運営推進会議、防災、他施設との交流、ボランティア、公共機関との交流を元を実施しています。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ) |
|------|------|---|--|-------------------------------|
| 30 | 11 | ○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している | <p>(自己評価) 納得のうえで医療機関を受診している。緊急時で家族 に連絡しても連絡が取れないときは別として。</p> <p>(外部評価) 入所当時はかかりつけ医は違っていた利用者も、現在 では協力医療機関がかかりつけ医となっている場合が 多い。受診の付き添いは基本的には家族をお願いして いるが、送迎はホーム側で行っている。緊急の場合は 職員が対応している。</p> | |
| 31 | | ○看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた 情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問 看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が 適切な受診や看護を受けられるように支援 している | <p>(自己評価) 日常において少しでもいつもと違う気づきがあれば他 職員、施設長、家族の方と報告、連絡、相談し必要が あればすばやく必要な看護や受診が受けられる様支援 しています。</p> | |
| 32 | | ○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できる ように、また、できるだけ早期に退院でき るように、病院関係者との情報交換や相談 に努めている。または、そうした場合に備 えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | <p>(自己評価) 入院すればお見舞いに伺ったり家族や病院の人に様子 をよく聞くように心がけ安心して治療できるよう環境 づくりを心がけています。</p> | |
| 33 | 12 | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方につい て、早い段階から本人・家族等と話し合い を行い、事業所でできることを十分に説明 しながら方針を共有し、地域の関係者と共 にチームで支援に取り組んでいる | <p>(自己評価) 重度化した場合の対応は普段から家族の方とどうした らよいか話しあっている。</p> <p>(外部評価) 利用開始当初から本人及び家族に説明を行い、同意を 得ている。利用者の状況の変化に応じて、その都度か かりつけ医と相談し、家族とも話し合いながら方針を 決めている。看取り介護についての同意書ももらって おり、家族が希望し、ホームでの対応が可能な場合は 受け入れる体制をつくっている。</p> | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ) |
|----------------------------------|------|--|---|-------------------------------|
| 34 | | ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている | (自己評価) 研修会や勉強会などに参加して応急処置や急変時の対応を身につけている。 | |
| 35 | 13 | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている | (自己評価) 防災訓練は年2から3回実施されている。避難、通報、消火など訓練で身につけている。地域の方には行事や自治会に参加した時その他お話しする機会毎にお願いしている。 (外部評価) 最近消防署の協力は得られていないが、年に2～3回は防災訓練を行っており、訓練用の消火器も置いている。防災マニュアルも作成し、ホーム内に避難経路も明示している。地域の方には日頃から協力をお願いしている。 | |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | |
| 36 | 14 | ○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている | (自己評価) 面会簿、生活記録等個別に記録保所定の場所に保管している。一人ひとり誇りを傷つけないよう配慮しそのときその場にあわせたさりげない声がけをさせて頂いている。 (外部評価) 管理者及び職員は心の大切さを常に考えており、日々の生活の中で、一人ひとり言葉かけについても気をつけている。トイレや歯磨きの誘導にも配慮がみられる。職員と利用者の会話は、家庭に居るような雰囲気があり、日常の生活を楽しんでいる様子がうかがえる。家族の面会簿は個別にしている。 | |
| 37 | | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている | (自己評価) その人その場面に応じるようにしています。また、傾聴し、お話をし、納得されます。又その事を記録に残すようにしています。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ) |
|------|------|--|---|-------------------------------|
| 38 | | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | (自己評価) ケアプランを基になるべく本人の希望を聞きながら、ゆったりと自由に本人の主体性を大切に、できる事を見つけ、自信を感じ、生きがいを見つけるように、自分らしさや、誇りを保った暮らしを実現するように日常のケアをさせて頂いています。 | |
| 39 | | ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している | (自己評価) 身支度は出来るだけ本人にまかせています。できない人には声がけにて進めます。家族の方と馴染みの店へ自由にでかけます。いけない人は希望により職員が髪型を聞きさせていただいています。(無料) | |
| 40 | 15 | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | (自己評価) 利用者と職員が畑で収穫した野菜を好みに合ったメニューを考える。バランスの取れた意欲のでる食事のたごしらえ、盛り付け、片付け等一緒にしている、食事は利用者と職員が同じテーブルで同じものを楽しんで頂いています。 (外部評価) 栄養バランスに気をつけ、品数も多く、季節感も採り入れ、見た目も食欲をそそるよう盛り付けされた食事は利用者の楽しみの一つとなっている。利用者は食事の下ごしらえを一緒にするなど、準備段階から参加している。時間を要する利用者については、本人が自力で食べ終わるまで職員が見守っている。 | |
| 41 | | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | (自己評価) 食事量や水分摂取量は毎日記録し一日単位で必要量が分かる。家族や医療関係者が必要正確に伝えられます。一人ひとりの体調や習慣等から個別に調整している。バランスの取れた意欲の出る食事の提供を続けたいと職員全員が協力してがんばっている。 | |
| 42 | | ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている | (自己評価) 一人ひとりの能力に合わせた声がけ見守り、介助などにより食後の口腔ケアが気持ちよくできている。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ) |
|------|------|---|---|-------------------------------|
| 43 | 16 | ○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている | <p>(自己評価)</p> <p>排泄パターンの時間帯を記録し、利用者さんの能力に応じた声がけトイレ誘導でポータブルを置くことなく全員トイレで排泄していただき自立に向けたお手伝いをさせて頂いている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>職員は、利用者一人ひとりの排泄パターンを把握して個別に支援している。全利用者について、昼間だけでなく夜間もオムツやポータブルトイレを使わず、利用者の睡眠の状態に合わせてトイレまで誘導しており、自立に向けた支援を積極的に行っている。</p> | |
| 44 | | ○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる | <p>(自己評価)</p> <p>普段から食事や水分補給・運動によってできる限り薬は控えて自然体に取り組んでいます。さらに便秘者には水分補給、食物繊維の摂取、お腹の運動、に気をつけ把握できない人は誘導させて頂いています。</p> | |
| 45 | 17 | ○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている | <p>(自己評価)</p> <p>舞毎日、いつでも入浴できます。はいりたがらない人に声がけの工夫をしている会話をかさね喜んで入浴していただけるよう取り組んでいます。入浴方法も個別にあわせ楽しんで頂いています。</p> <p>(外部評価)</p> <p>利用者の体調等に配慮しながら、可能な限り全員が毎日入浴できるよう支援している。午前中は散歩や運動などの活動を行っているため、午後からの入浴が基本となっている。順番は職員が調節しながら、利用者が気持ちよく入れるよう配慮している。入りたがらない人には、声かけを工夫したり、声をかける職員を交代するなどして対応している。</p> | |
| 46 | | ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している | <p>(自己評価)</p> <p>眠れない人には、傾聴や、話をして本人が眠れる状態にして差し上げています。就寝時間、起床時間も一人ひとりに合わせた時間に行っている。体調や習慣に合わせた休息が取れている。</p> | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ) |
|------|------|--|--|-------------------------------|
| 47 | | ○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | (自己評価) 一人ひとりの処方箋にそって支援しています。また表にチェック記録して飲み忘れや誤薬を防止。症状は日々記録して家族や医療関係者に正確に伝える事が出来るようしている。 | |
| 48 | | ○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている | (自己評価) 食器を洗ったり、ふいたり、洗濯物を干したり、たたんだり、料理の下ごしらえをしたり一人一人の能力に合わせた役割を持っています。また手工芸、歌、散歩などすくな事をして楽しまれています。 | |
| 49 | 18 | ○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している | (自己評価) 一人ひとりのその日の希望によって散歩、ドライブ、喫茶店、買い物等の外出は常時行っている。家族支援のもと（家族の了解を得て親しい地域の人）と特別な場所に行かれるなど自由に出かけられています。 (外部評価) 日頃から近所を散歩したり、利用者の希望に応じて買い物や喫茶店、ドライブ等に出かけている。畑の収穫を楽しんだり、少しの間でもホームの外に出て外気に触れられるよう支援している。利用者と社会とのつながりを断ち切らないよう、地域の行事に参加したり、遠出の外出等も計画的に実践している。 | |
| 50 | | ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | (自己評価) 本人、家族の合意のもと預かっており、日用品やおやつ等を職員と財布をもって買いにでかけている。 | |
| 51 | | ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | (自己評価) ジムショに電話置いてありいつでも対応できる。手紙はかけない人や希望により職員が代筆させていただいている。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ) |
|------|------|--|---|-------------------------------|
| 52 | 19 | ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | (自己評価) 畑で出来た花を飾ったり、季節感を感じる壁面飾りを利用者さんと製作し飾り季節を感じゆすらぎのをじられいごこちの良い空間づくりの工夫をしている。 | |
| | | | (外部評価) 管理者及び職員は家庭的な雰囲気を大切にしており、居間にはテーブルやソファが工夫して配置されている。トイレも広く、手すりの位置も考えて設置されている。壁には職員と利用者が一緒に作った季節の作品や、季節の花も飾られている。利用者は昼食後はそれぞれがお気に入りの場所で自由に過ごしている。 | |
| 53 | | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている | (自己評価) 各所にソファや椅子をおいて一人や数人でのんびり過ごせる工夫あり、お話ししたり、居眠りしたり、本を読んだり自由に思いおもいに楽しくすごされている。 | |
| | | | | |
| 54 | 20 | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | (自己評価) 利用者さんがもと過ごされた部屋のように思い出のものたんす、絵、人形、写真など家族さんにお話し持ってきていただき飾り、安心して生活のできその人らしい個性的な居室につくり工夫をして自立のお手伝いをしている。 | |
| | | | (外部評価) 収納庫があるため、すっきりした部屋が多い。利用者によって家庭から持ち込んでいるものに違いがあるが、部屋の飾りや写真等は自分の部屋らしく飾り付けされている。部屋全体は落ち着いた雰囲気となっており、本人が過ごしやすい個性があふれた部屋になっている。 | |
| 55 | | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している | (自己評価) 一人ひとりの分かるやできるを活かして混乱や失敗を防ぐ工夫ができています。各所に手すりをつけ安全に移動や日常生活動作ができ居室のベットはそれぞれ本人の高さに合わせた物となっている。 | |
| | | | | |